

3―57―0

(包紙)

「一色主水公より来書」

3―57―1

御手紙拝見候、如仰昨日^者

得御意大慶存候、然ハ御里坊へ

之義今明日之内ニ御出御尤ニ

存候、中将殿へ^茂承候処ニ大沢

常伴へ承合候ニ及不申候事

肴持参被成候^而可然候、弥御取

成奉頼候と被仰入候様ニとの

御事ニ御座候、委細可得御意

候へとも

関東へ之書状認居申候故

早々及御請候、以上

二月十七日

尚々殊外取込

早々以上

諸事ハ御免

へ

大谷九右衛門様 一色主水

315712

御手紙拝見、如仰前宵

寛々得御意大慶存候

然^者被仰越候御紋之

風見并御紋之指札、書付

帳面一冊御紙面之通

御使ニ相渡シ申候

落手可被下、委細ハ

貴面可申承候、以上

十二月七日

尚々、前宵御物

語申一儀、近日之内ニ

頼入存候、以上



大谷九右衛門様 一色主水

3 | 5 7 | 3

口上

一昨宵^者得御意

大慶存候、殊預御馳走

忝存候、然^者明日御

□^ニ出候故暮過迄

留主^{ニ而}御座候、十二日三日

両日之内^{ニ者}可得

御意候、若御出^茂

可被成哉と如此御

座候、以上

二月十日



大谷九右衛門様 一色主水

3 | 5 7 | 4

口陳

頃日^者乍早々得御意

大慶存候、然ハ大西淡路守此方^江

被参候筈御座候、貴様御事

淡路守^江御逢被成候様^ニ中将殿

直^ニ頼可被申候筈御座候間

左様^ニ御心得可成候、此間も

参候得共、御他出之事^{ニ而}

罷帰候、懸御目度候

委細御面上可申承候、以上

二月二日

大谷九右衛門様 一色主水

3 | 5 7 | 5

尚々緩々得入来

其節可入候、以上

御手紙披見、然ハ
昨日鈴鹿周防守殿より
返答被承候由御念入候
段忝存候、且又何より
之菓子被献進
則御上^江致披露候
得^者千万御念入
候儀ニ被存候、猶後
程八ツ時分御出可
被成候、其節淡路守^江
引合可申候、為其
如此候、猶後刻
可得御意候、以上

二月三日

大谷九右衛門様 一色主水

3 | 57 | 6

(端裏書)

「大谷九右衛門様 一色主水」

以手紙申入候、弥可為無事
玆重存候、然^者手前儀も
先日、乍伺御機嫌日光^江
下着致候^而夫より致出府
上野御殿^江参致逗留候
御旅宿之處不存候^而
以手紙も不申入候、御旅宿
之處大西淡路守殿^{江承}
候故以手紙申入候、一兩日中
上野御殿迄必御出
待入存候
宮様^{ニ茂}御庖瘡^{ニ而}候へとも
輕キ御脈躰ニ被成御座候
夫故坊官御近習も昨晚
日光^江追々被参候、以上

四月廿九日

尚々一両日之内上野

御殿迄御出待存候、以上

315717

大谷九右衛門様 一色主水

御手紙拝見不相替御堅固

珍重存候、然ハ重之内被進品

披露致シ候処、珍敷物とて

大悦被申候、宜抵老より可申入旨ニ

御座候、委細御手紙三通

致承知候、何事も取込

早々及御請も□□ふミ

拵様迄申候、大納言殿

中将殿より何分宜申入候様ニと

被申附候、以上

三月十四日

尚々徳田氏へも

宜御申入可被下候、取込早々下

又々関東へ之書状昨夕

認候_而貴様之御書付も下シ

申候、今日ニ至候_而も御文

見申候通方々へ之手紙

六通_{ニ而}拝しせめられ申候

鬼計_{ニ而}ハ

無御座候、一笑

大谷九右衛門様 一色主水